



2025 年度
第 36 号

体育市民連帯 ニュースレター

1
運動部の後輩
「性的暴行を受けた」
仮面をかぶった
全国大会 3 冠王



2
スポーツ界の暴力根絶
体育会の選手委
問題解決に
積極的に乗り出した



3
「今までありがとう」
シャベルで殴られながら
運動した中学生
暴行デパート K スポーツ



4
国民体育振興公団
経営評価のため
実績データを操作



5
韓国・タイの
体育協力方案を議論
崔輝栄長官
パタマ IOC 委員と会談



大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？



*

01 京郷新聞 2025. 09. 26

**運動部の後輩「性的暴行を受けた」…
仮面をかぶった「全国大会 3 冠王」体育界の有望株**

大田のある高校の運動部で、学校の先輩が後輩を相手に性犯罪などを含む学校暴力を犯したという通報が教育当局に受け付けられた。

25 日、大田所在の A 高校の学校暴力対策審議委員会には前日「昨春、3 年生の学校の先輩から類似強姦などの学校暴力にあった」という申告が受け付けられた。

申告内容を見ると、B 君は今年の春、ある宿泊施設で 2 年生の後輩 C 君に「マッサージをしてやると言って」うつ伏せになるよう強要した後、C 君が拒否意思を明らかにしたにもかかわらず、下着などを脱がせ、道具を利用して性暴力を加えた。該当場面は映像でも撮影され、他の学校の生徒たちに流布されたという内容も盛り込まれた。

この事件は、B 君等が大会に参加するために、他の地域の宿泊施設で一緒に滞在していた時に発生した。当時、B 君の他にも何人かの学生たちが現場を目撃したと伝えられた。加害の疑惑を受けている B 君は、全国大会の個人種目で 3 冠王に輝いた地域体育界の有望株として知られている。

被害を主張した C 君は「報復されることを恐れて誰にも言えずに心の中で我慢していた」として「時間が経つほど苦しさが増すひどくなり両親に話した後に申告をすることになった」と話した。

C 君側は学校暴力申告に続き、この日児童・青少年の性保護に関する法律違反(類似性行為、性搾取物製作・配布など)と性暴力犯罪の処罰などに関する特例法違反(カメラなど利用撮影・頒布など)、児童福祉法違反(児童虐待)などの疑いで B 君を警察に告訴した。

C 君の弁護人は「被害者は申告以後、今後運動を継続できるかについて恐れている」とし、「再発防止のために関連者の保護・監督責任違反に対しても確認中」と話した。

それと共に「事件現場にいた他の学生たちの場合、犯行に加担せず、この学生たちもやはり校内暴力の被害者と判断され別に措置を取らなかった」と話した。

一方、加害者として名指しされた B 君もやはり「私たちも被害者」として C 君を相手に校内暴力申告を受け付けたと明らかにした。

B 君の両親は「当時、C 君も私たちの子供の重要部位に身体を接触するなど性的羞恥心を感じさせたが、当時は子供たち同士が皆いたずらだと認知し笑い飛ばしたと理解している」と反論した。

続いて「まだ事実有無などに対する調査がまともに行われておらず、C 君側が一方的な主張だけをしている。今後行われる教育当局側の調査で明確な事実関係が明らかになることを願う」と話した。

教育当局は学校暴力処理マニュアルに従って措置するという立場だ。

教育庁関係者は「事案調査が明確になされるよう関連手続きにより処理する予定」とし、「本格的な調査の前に 2 次被害を防止するための分離措置などに対しても考慮している」と話した。

出典：<https://www.khan.co.kr/article/202509260600001>

02 nate スポーツ 2025. 09. 24

スポーツ界の暴力根絶・・・体育会の選手委、問題解決に積極的に乗り出した



大韓体育会選手委員会が最近、体育界で浮き彫りになった暴力問題と品位損傷事例などが浮き彫りになったことと関連し、これを根絶し国家代表品位維持行動を促す方案を出した。

体育会選手委員会は 24 日午前、忠清北道鎮川の家代表選手村チャンピオンハウス 1 階の会議室で 2025 年度第 2 次会議を開催した。特に、今回の会議では、一部の種目で発生した選手間の暴力や品位損傷の事例で、体育界の信頼が低下したことを受け、選手対象の暴力根絶や国家代表の品位行動を促す案について話し合った。

体育会選手委員会はいかなる理由でも暴力・性暴行・不当行為を容認できないことを明確にし、被害選手保護と再発防止、加害者に対する厳正措置を強調した。また、国家代表選手たちには SNS などオンラインプラットフォームで不必要な政治的・社会的発言を控え、公人として責任ある行動と品位維持に徹底することを強力に促す声明書を採択し発表することに同意した。

会議を主宰したキム・グクヨン選手委員長は「会議を通じて私たちの委員会が選手たちの声をより忠実に反映し、スポーツの公正性と信頼を高める実質的議論がなされることができた」とし「今後も選手委員会委員たちの積極的な協力と主導的な参加を通じて大韓民国スポーツの新しい変化と跳躍を作っていこう」と頼んだ。この日の会議は、競技操作防止のために関連活動を遂行する国際オリンピック委員会 (IOC) の PMC アンバサダー推薦議論が行われ、有望株選手メンタリングプログラム推進を通じてスポーツ科学教室を多角化して運営できるようメンタリングプログラム参加協力方案も検討した。

出典：<https://sports.news.nate.com/view/20250924n34043>

03 プレシアン 2025. 09. 28

「今までありがとうございました」

シャベルで殴られながら運動した中学生、暴行デパート K スポーツ



すべて中学生たちの話だ。今年 1 月、鉄人 3 種中学生代表団の合宿訓練過程で、3 年生の男子生徒が 2 年生の女子生徒に数回性的暴行を加えたことが明らかに、衝撃を与えた。女子学生は抵抗したが、力不足だった。男子学生の部屋に引きずり込まれる姿が CCTV に捉えられた。加害者は性的暴行だけでなく不法撮影までしたが、この映像を持ってまた脅迫し性関係を要求した。この映像を他の選手たちと回したりもした。

6 月、慶尚北道尚州のある中学校シルム部監督が 2 年生の学生の頭をシャベルで暴行した。スコップで打ち下ろして医療用ホッチキスで縫合しなければならないほどの深刻な傷だった。監督は両親に洗面台にぶつかって怪我をしたのだと嘘をついた。そして 2 ヶ月間、これを隠蔽した。被害生徒はその後も持続的な暴力に苦しんだ。

その生徒は7月、家族に「これまでありがとうございました」というメールを残し、マンションの14階から飛び降りる直前に父親に発見され、劇的に生き残ることができた。調査の結果、1年生の時には監督にシャベルと足蹴りで暴行を受けた。2年生の時は、新しく赴任した監督にひざまずいたまま、シャベルと棒で殴打された。2人の監督の共通点？ 子供をシャベルで殴ったという点。そうだ。彼らは兄弟だった。39歳、37歳、実の兄弟だった。

韓国のスポーツ、子どもたちを教える資格あるのか？

3日、全国ボクシング大会中等部の試合。第1ラウンドにダウンするなど一方的に攻撃を受けた選手は、第2ラウンドが始まったにもかかわらずガードすら上げられない異常状態だった。相手選手はこれを見てたじろいだ。しかし、コーチはこれを無視し、審判は試合を強行した。間もなく倒れた。競技場には119や病院の救急車ではなく、私設の救急車があった。運転手はサイレンのつけ方も知らなかった。信号を守りながら運転し、病院も見つからず、道路をさまよった。病院まで30分かかった。脳出血だった。医療スタッフは「遅すぎた」と述べた。1週間たっても意識不明。怒った父親は8日、大会進行中にリングに上がって自害を試みた。

残念だが、事件、事故は社会のどこでも起きる。問題は事が起きた時にこれに対応する姿勢だ。JTBC報道によると、鉄人3種性暴行事件が発生した後に開かれたスポーツ公正委員会で「10代の時はそうかもしれない」「強圧によって性関係をしたとは見難い側面がさらに多い」という、とんでもない発言が出た。実に「加害者らしい」妄言だ。特に、鉄人3種は5年前、故チェ・スクヒョン選手が監督、選手たちからの暴行、いじめのために生を終え、体育界を騒がせたまさにその種目だ。

それでも協会は「流布が憂慮される」として不法撮影された映像を削除し決定的証拠をなくしてしまった。証拠隠滅だ。被害学生の母親によると、協会は「二人で犯しておいて、なぜ周囲の人々を苦しめるのか」という式であり、犯罪者扱いしながら質問を投げかけたという。「あなた、なぜその部屋に行ったのか」とし。結局、とんでもない決定が下された。性的暴行は「合意された性関係」になった。また、男子宿舎に入ったことを理由に挙げて「重大なミスを犯した」として被害女子中学生に出場停止3ヶ月懲戒を下した。

シャベルで生徒を暴行したシルム部の場合、息子の極端な選択直前にこれを発見した父親が暴行事実を学校に知らせたが、学校は警察に直ちに通報しなかった。むしろ転地訓練支援金のための最小人員確保のために被害学生に転地訓練参加を強要した。実に大胆ではないか！ 転地訓練を拒否すると学生部長は厚かましくも「訓練期間中に家の外に通わないようにしなさい、支援金を返還しなければならない」として被害学生の外出禁止を要求する。これくらいになると気が狂いそうだ。また、自殺未遂の2日後、Weeセンターに通報すると、学生部長は「なぜ通報したのか」と怒ったりもしたという。被害学生は精神的衝撃で精神科治療はもちろん心理相談さえ拒否すると記事は伝える。

韓国スポーツの強固な基盤「加害者中心主義」

ところがシルムでも理解できない懲戒処分を下す。被害生徒は初等学校と中学校1、2年生の時に自身を指導した3人の監督から暴行を受けたが懲戒を受けたのは中2の時に暴行した「弟監督」1人だけだということだ。韓国スポーツで繰り返される確実なパターンの一つはまさに「加害者中心主義」だ。相次いで事故が起きるや大韓体育会は「未成年者対象暴行と長期苛酷行為事件に対して深い遺憾を表わす」として「こういう事件が再発しないよう最も強力な水準の懲戒規定と無寛容原則を全面施行する」と発表した。鼻先で笑う。世界で最も信じられないのが体育界の誓いだ。これまで変わったことがあるの

か？ 謝罪、再発防止、強力な懲戒は大韓体育会など、韓国の体育界が口癖の一つだ。この30年余り繰り返し接した体育界の暴行事例は非常に創意的で猟奇的でさえある。大韓民国のスポーツは、ほとんど暴行のデパートだ。

1年も欠かさず繰り返される児童暴力の歴史

昨年寄稿したコラム「大人も耐えられない拷問で4歳の子供は脳死、児童虐待Kスポーツか？」>でソンサッカーアカデミーなど幼少年サッカーとテコンドーで発生した衝撃的な暴行事例を紹介したことがある。小学生、中学生の被害者だけを選んで紹介した。一番下の子が4歳。テコンドーの館長がくるくる巻いて立てておいたマットに子供を逆さまに入れて20分間放置した。子供が「出してください」「助けてください」を切なく叫んだが、そっぽを向いた。結局死亡した。それは拷問だった。

怒りを抑えながら、また別の記事に接する。21日、仁川のテコンドー教室の師範が「児童・青少年の性保護に関する法律上の威力による姦淫の疑い」で拘束された。塾や車で13歳未満の小学生を強制わいせつし、性的暴行を加えた容疑だ。韓国体育界の児童暴力の歴史は1年も欠かさず繰り返される。外国ではスポーツが子どもたちの天国だが、この地では子どもたちの地獄だ。

出典：<https://www.pressian.com/pages/articles/2025092709485573198>

04 ニュース 2025. 09. 27

国民体育振興公団、経営評価のため実績データを操作



文化体育観光部傘下の準政府機関である国民体育振興公団が全社情報システムを維持・管理する請負業者を通じて経営評価対比実績データ操作と経営評価用秘密メニュー開発を指示した状況が確認された。

27日、国会文化体育観光委員会所属の共に民主党のイ・ギホン議員が確保した資料によれば、最近公団スポーツ福祉チーム所属のA氏は公団常駐請負業者の職員B氏に内部メッセージメッセージを送り「未利用者対象にオンライン講座受講クリック処理」作業を要請した。

A氏は特定対象者のオンライン講座を指定された日付と時間に合わせて「1回クリック」してくれと要求し、以後クリック日付と時間を削除したエクセルファイルをITセンターに再び伝達するよう指示した。

また「今日から一定人員に対してオンライン講座受講クリックを要請する」とし、「毎月要請する」と付け加えた。実際には講座を受講していない会員が特定日付と特定時間(17～21時)に受講したかのように虚偽記録を残すようにしたのだ。

A氏が操作を要求した事業は、公団が今年5月から推進した2025年(スポーツ講座)利用券未利用者および誠実利用者対象の受講イベントだった。

この中でスポーツ講座利用券を使わず「資格停止」状態になった対象者の実績が低調であるため、彼らが誠実に受講したように見えるように数値を操作させたのだ。

特にA氏は「昨年第4四半期に行った作業を今年も進行しなければならない」と言及し、昨年も類似した操作があったことを示唆した。

今年の公共機関経営評価便覧によると、公団のスポーツ福祉増進事業は配点が 21 点だ。このうち、スポーツ講座の利用拡大実績は加重値 2 点を占める。

データ操作のための「秘密メニュー」開発指示もあった。

昨年 7 月、スポーツ利用権チーム C 氏は請負業者職員 D 氏に「既存提出した経営評価実態調査用バックデータと管理システム上数値が異なるので、経営評価実態調査対応前にメニュー開発が必要だ」として「利用券実績統計」と混同されないように「利用券実績冬季」等、誤字脱字を活用したメニューを新たに開発してくれと指示した。

C 氏は閲覧範囲を公団内部だけに制限するようにした。地方自治体や障害者体育会など実際の執行主体は接近できないように遮断した。事実上、経営評価用に調整されたデータを別途に管理するための措置だったと議員室は説明した。

C 氏はまた「詳細内訳の反映が難しいならば総計値だけを調整する方式で協議可能だ」と言及し、元データ(会員脱退・情報変更など)と関係なく経営評価点数を有利に補正できる機能開発を注文したと解釈される。

イ・ギホン議員は「経営評価は政府予算、機関評価、人事、成果給と直結する。データを任意に手入れする行為は評価制度の根本を揺るがす重大な問題」として「このような操作指示がいつから、どの線から始めて請負業者にまで下がったのか実体を明確に明らかにしなければならない」と強調した。

出典：<https://sports.news.nate.com/view/20250927n03634>

05 ニュースピム 2025. 09. 25

韓国・タイの体育協力方案を議論…崔輝栄長官、パタマ IOC 委員と会談



2025 水原ビクターコリアオープンバドミントン大会を訪れたタイのクニング・パタマリスワットラクーン国際オリンピック委員会 (IOC) 委員が韓国スポーツ界の主要人物と会った。

文化体育観光部の崔フィヨン長官は 26 日、ソウル国立現代美術館でパタマ委員と接見し、体育協力案について話し合った。この席には IOC 選手委員

出身の大韓体育会柳承敏会長も同席した。

2017 年、タイ女性初の IOC 委員に選任されたパタマ委員は、現在タイ唯一の IOC 委員であり、世界バドミントン連盟の会長だ。

崔長官は「IOC 委員との初会合を通じて国際スポーツ交流を本格化することになり意味が大きい」とし

「オリンピック開催経験を土台に韓国はオリンピック遺産を継承し精神を拡散する先頭に立つ」と明らかにした。続けて「タイのスポーツ発展に献身し『オリンピッククイーン』と呼ばれるパタマ委員の歩みはスポーツと文化融合政策を推進する文体部の方向とも接している」と評価した。

柳承敏会長もやはり「IOC と世界バドミントン連盟で活発に活動してきたパタマ委員に敬意を表わす」として「韓国とタイ共にバドミントン強国であるだけに種目発展と国際協力が拡大することを願う」と話した。

パタマ委員は「韓国は東・夏季オリンピックを全て行った世界的スポーツ強国」とし「バドミントンをはじめ色々な種目で協力が続くならば国際スポーツ発展に大きく役立つだろう」と答えた。

両国は 1993 年、体育交流了解覚書を締結して以来、30 年以上協力を続けてきた。ボウリング、スキー、自転車、陸上など多様な種目で合同訓練と指導者交流が行われた。文体部の「ドリームプログラム」を通じてタイの青少年が韓国で冬季スポーツを経験したりもした。昨年、江原道冬季青少年五輪では、ドリームプログラム出身のタイ選手が史上初の冬季種目五輪メダルを獲得し、意味を加えた。

文体部は今回の会合をきっかけに、大韓体育会と共に国際スポーツネットワークを強化し、アジアを越えてオリンピック舞台で韓国スポーツの地位を高める戦略を継続する計画だ。

出典：<https://sports.news.nate.com/view/20250926n19271>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel：02-2279-8999、E-mail：sports-cm@hanmail.net ホームページ：<http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>